
陸奥黄金長者伝説

山之口 博道

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

陸奥黄金長者伝説

【著者名】

Z6049J

【作者名】

庄内口 博道

【あらすじ】

陸奥に伝わる長者伝説です。
悲しいお話ですね。

その昔、この地方にはそれはそれはたいそな長者様があつたそうな。

豪壯な屋敷を構えて、田畠は見渡す限り、春には早苗たちが、苗を勢ぞろいして植える姿はそりゃあ、壯觀だつたそうな。

そして秋には、黄金の稻穂が見渡す限りに風に揺れ、刈り取つた俵は長者様の広い庭を埋め尽くしたそうな。

そして米俵は、なんと、まあ、15もある米蔵にすべて収められたといつうそつな。

まるでお殿様のような暮らしへり、

春の屋敷には春の花が

夏の屋敷には涼を呼ぶさぐさが、

秋の庭にはもみじが黄金のハーモニーを奏で

冬の屋敷は、雪見の書院が作られていたそうな。

何一つ不自由のない豪奢な暮らし、

だが

そんな長者様にもただひとつだ氣、思いのままにならないことがあつたそつな。

それはほかでもない子供が生まれんかったのじやよ。

この大財産を受け継べべき子供がおらんかったのじやよ。

夫婦はある日山の、観音堂に願を掛けたそじや。

百か日の願掛けじや。

「どうぞわたしに子供がわざかつますよ、元の願い聞き届けられたなら

黄金の人形100体作って觀音池に奉納しますじや。」

觀音堂の前には広い広い池が広がつておつたのじやよ。

そして調度百か日の夜の夢枕に、觀音様がおたちになつて、
こうこつたそうじや。

『そちたちの願いは聞き届けられたぞよ。玉のような女の子が授か
るじやわつ』と。

果たせるかな、長者さまには、それはそれはめんこい娘子が授かつ
た。

長者様は早速黄金で1尺ほどの人型を100体作らせ觀音池に奉納
したそつな。

長者様はそれこそ花よ、蝶よと育てて這えば立て立てば歩めといつ
くしこだそつな。

そして、娘が15になつたとき、なんと都の帝から奥方として輿入
れせいとの知らせが舞い込んだのじや。

長者様が、嘆くことはそれはもう見ていられなかつたそつな。

それはやいぢや。いしまでこつへしんだ娘を、わざむぎ都ことひれ
てしまふんだからのつ。

しかし、時は至り、都からそれは壯麗な迎えの使節がやつてきたと
言つ。

そして花嫁御料は都へ向かうもつ2度といひの地には娘子は床らんか
つたといつ。

それからといつもの、あれほど栄えた長者様も
田ごとに、寂れていきつには、長者様がなくなると、
やがては其のお屋敷も取りじまされて
今では一面の麦畑となってしまったのじやよ。
誰も信じますまい。

あの麦畑がその昔、豪壮な長者さまのお屋敷があつたところなんて
長者三代とはよく言つたもので、どんなに栄えた長者でも三代目こ
は、ほれこの通り、
お屋敷も消えうせて、麦畑になる定めよ。

おやもう私の話には飽きたかね？

といひど、あの黄金のひとがた100体はもつたかつて?
娘が都に行くときこそすべて引き上げて結納金として持たせたとも言
う。

あることは、池ではなくて実はある秘密の洞窟に隠してあるとも言つ
し、

あることは黄金ではなくて金箔の小さな觀音様一体だったとも言つ。
真相は謎じやよ。

何じろ今から1000年も昔のお話だからね。

誰も真相は分からぬのじゃよ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6049j/>

陸奥黄金長者伝説

2010年10月12日03時07分発行